

令和4年5月27日低気圧の影響による降雨と融雪の影響
により矢木沢ダム・奈良俣ダムは、防災操作を行いました。

防災操作により

矢木沢ダムに貯留量（約125万 m^3 ）、奈良俣ダムに貯留量（約18万 m^3 ）

矢木沢ダム流域では、5月27日4時頃から28日5時までに累計で、45.0mmの降雨量を観測しました。

この降雨と融雪によりダムへの流入量が増加し、27日9時10分に洪水量（毎秒100 m^3 ）に達したため、防災操作を実施しダムに約125万 m^3 を貯留しました。

奈良俣ダム流域では、5月27日4時頃から27日12時までに累計で、40.0mmの降雨量を観測しました。

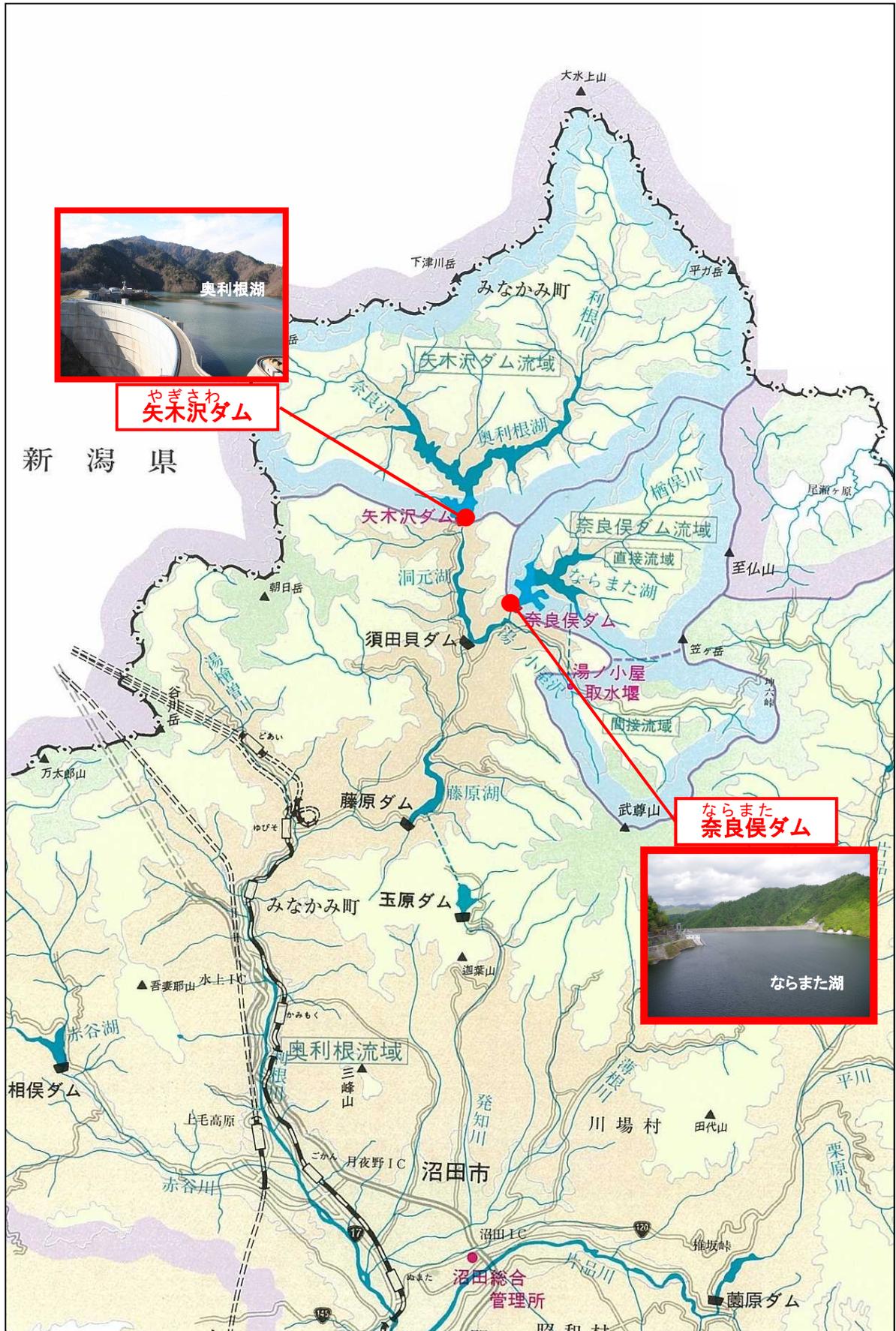
この降雨と融雪によりダムへの流入量が増加し、27日10時50分に洪水量（毎秒80 m^3 ）に達したため、防災操作を実施しダムに約18万 m^3 を貯留しました。

今後も、矢木沢ダム・奈良俣ダムでは適切に防災操作（洪水調節）を実施し、下流地域の洪水被害の防止・軽減に努めてまいります。

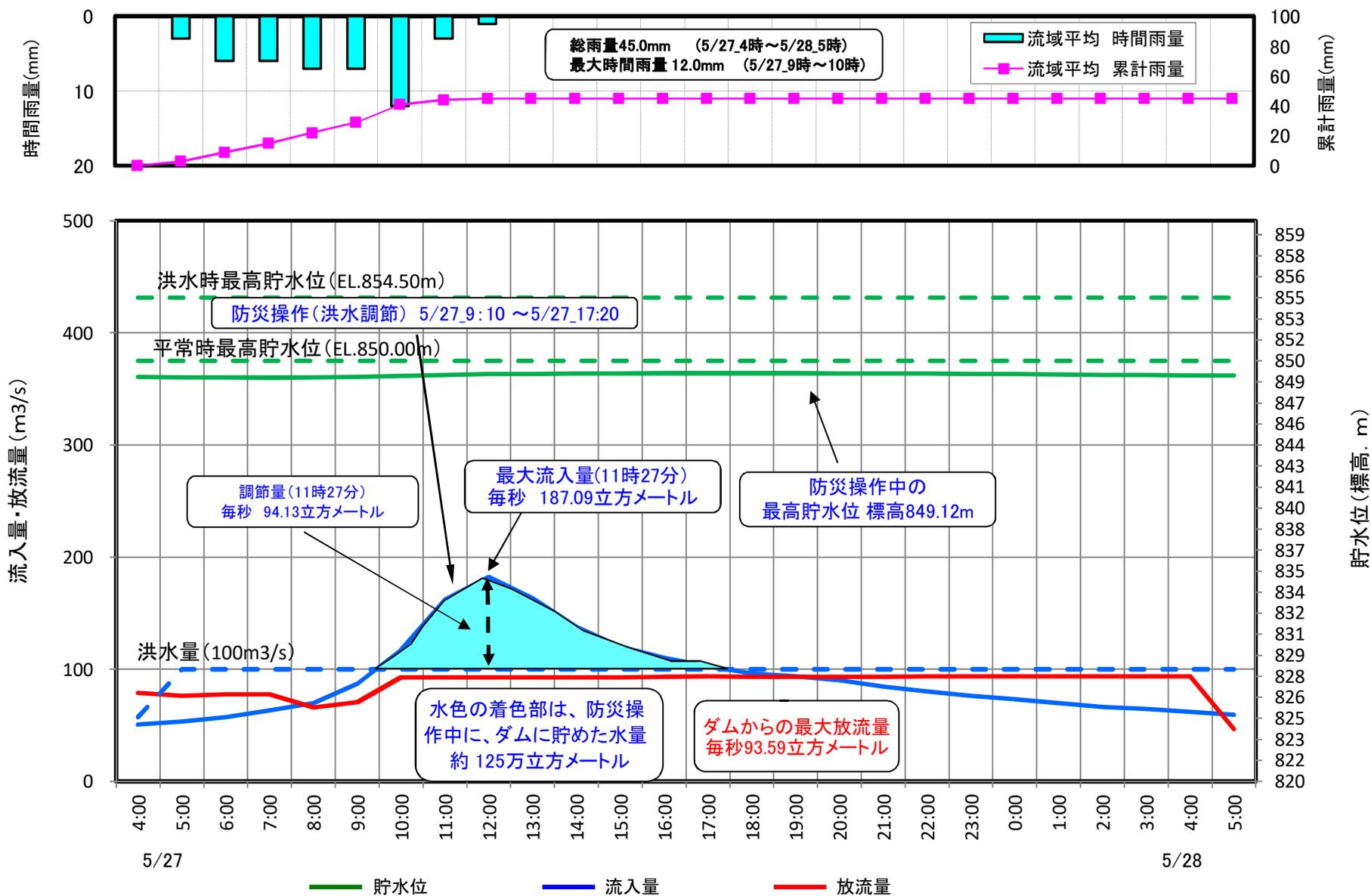
※防災操作（洪水調節）とは、降雨等によりダムに流れ込む水の一部を一時的に貯め込んで、ダムから下流に流れ出す量を減らし、下流の川の水位を低減させることです。

注）数値は速報値です。

■位置図



■ 矢木沢ダム防災操作（洪水調節）状況図



■奈良俣ダム防災操作（洪水調節）状況図

